

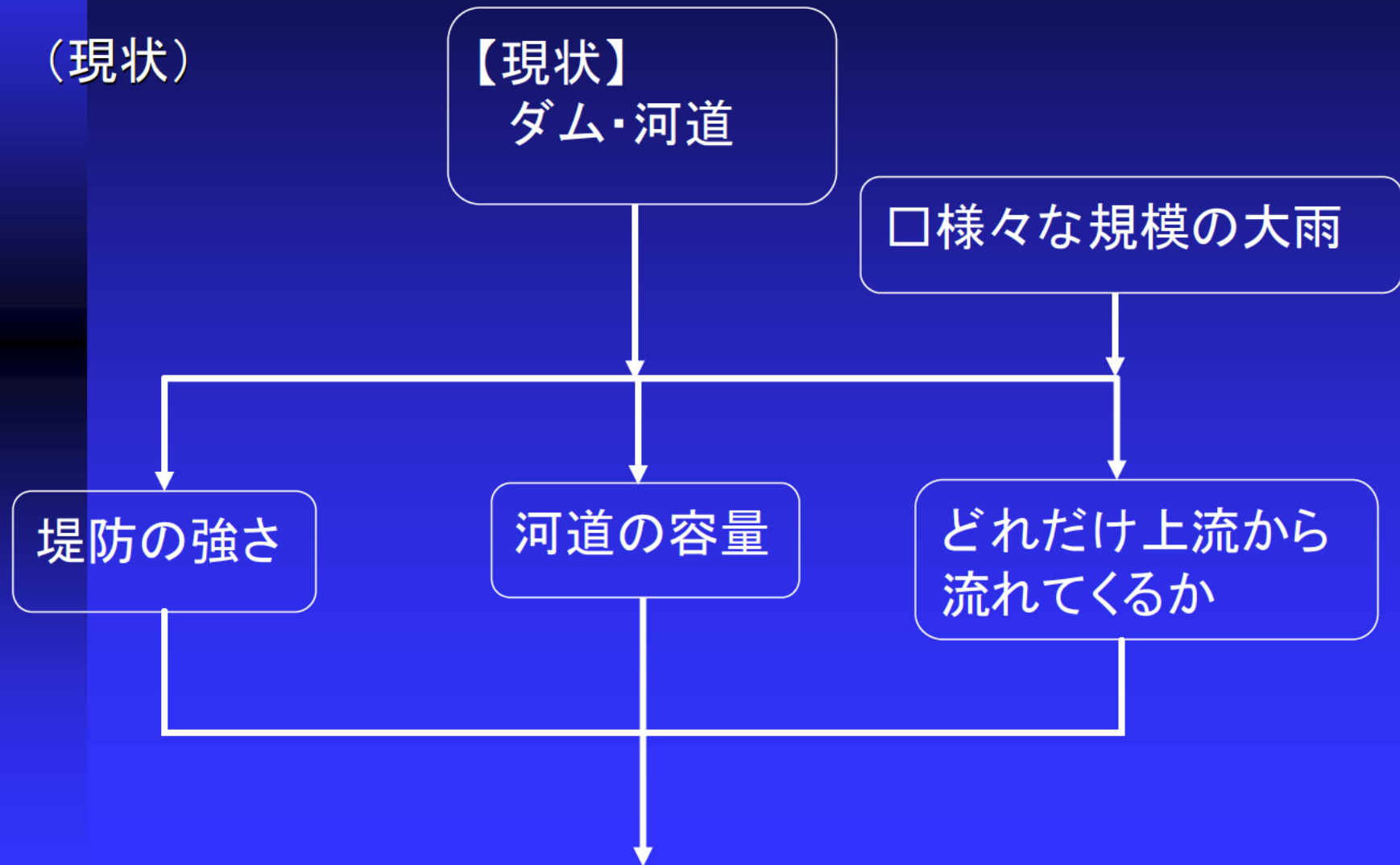
淀川水系草津川の現状説明 (淀川水系河川整備計画の検討)

近畿地方整備局

第1章 災害の発生防止 又は軽減に関する事項

整備計画策定の流れ

(現状)



(課題)

【何が起こるか】
溢水、破堤、
氾濫頻度、深刻さ

(対応)

【何をするか】
効果
社会・自然環境への影響

(集約)

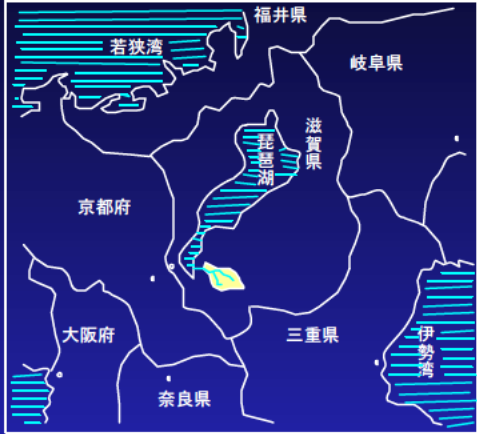
河川整備計画

第1節 草津川を取り巻く 社会環境

1. 草津川の河川概要



位置図



凡例

- 基準地点 : ■
- 主要な地点 : ●
- 既設ダム : ▽
- 流域界 : ———
- 都道府県 : —< >—

流域面積	48.3 km ²
直轄管理区間	
草津川(現川)	7.4 km
草津川放水路	4.0 km

H13.5現在

1. 草津川の河川概要

- 水源は、滋賀県信楽山地の北西端に位置する竜王山の西腹です。
- 上流部は、風化の進んだ花崗岩山地であり、土砂の運搬が盛んです。
- 下流部は、土砂の運搬・堆積により、天井川を形成しています。
- 下流部では、天井川を解消するための抜本的な治水対策として、草津川放水路が建設中です。
- 周辺には、草津市、栗東町など2市1町があります。

1. 草津川の河川概要



現草津川 (河口付近)

現草津川
(金勝川合流点付近)

琵琶湖

草津川

草津川
放水路

西矢倉

北川

伯母川

草津川

美農郷川

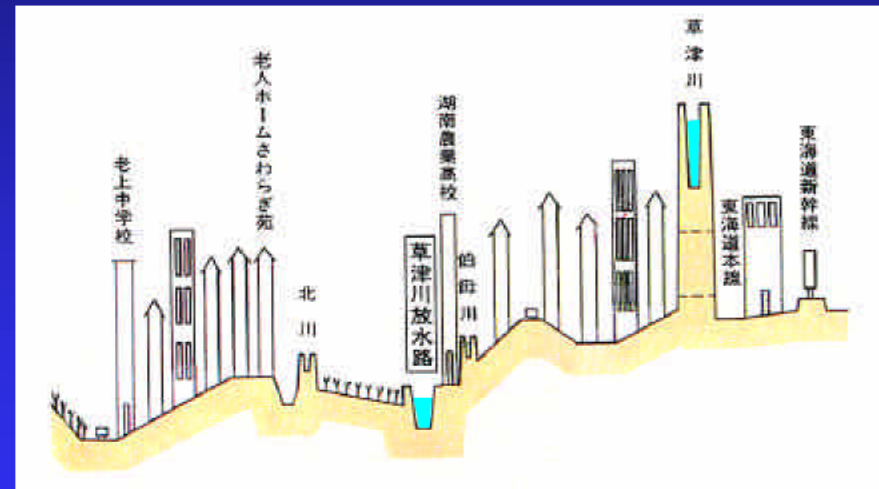
金勝川

草津川放水路 (河口付近)

草津川放水路 (国道1号付近)
建設中

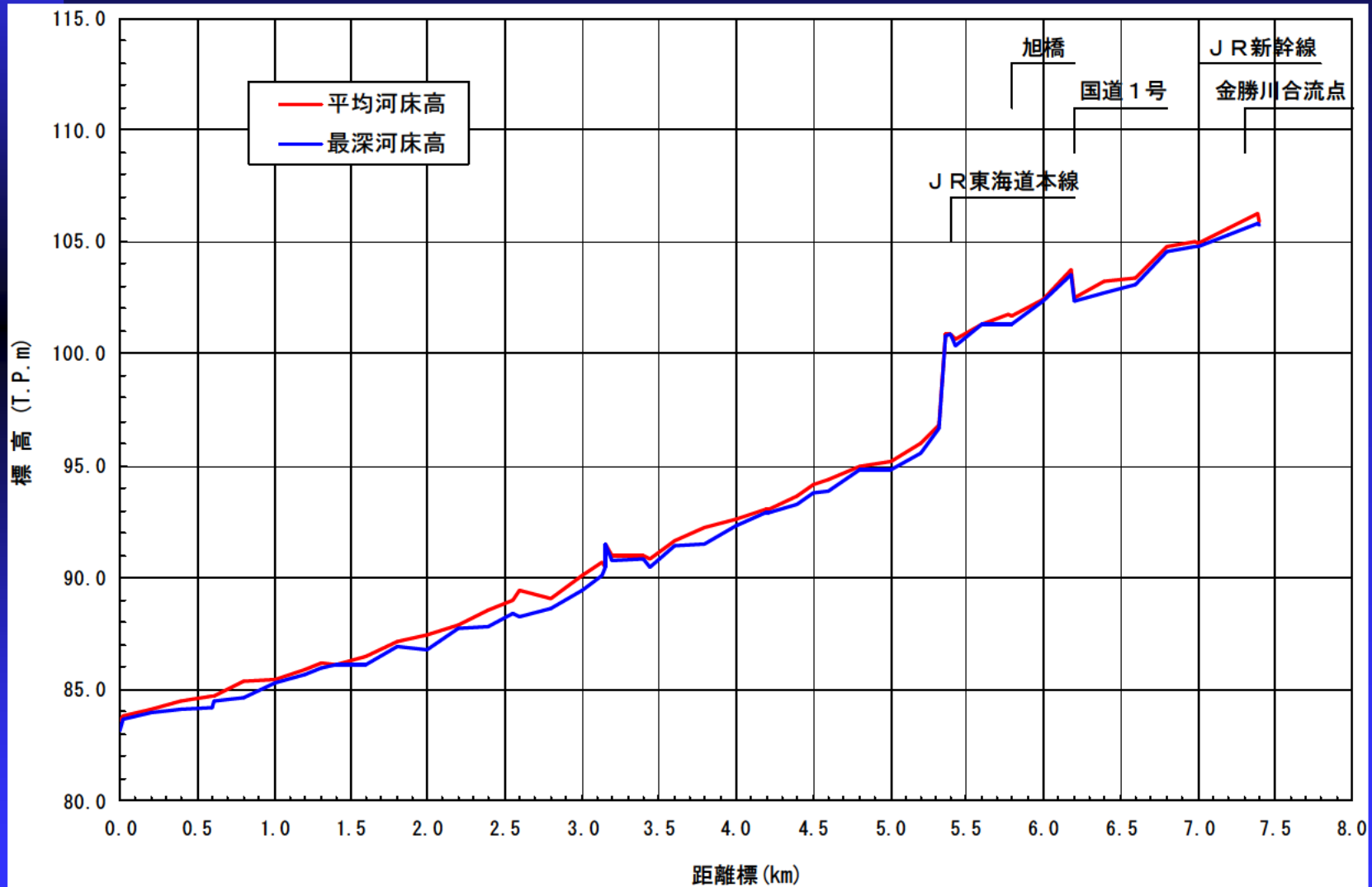
1. 草津川の河川概要

■ 天井川である草津川現川



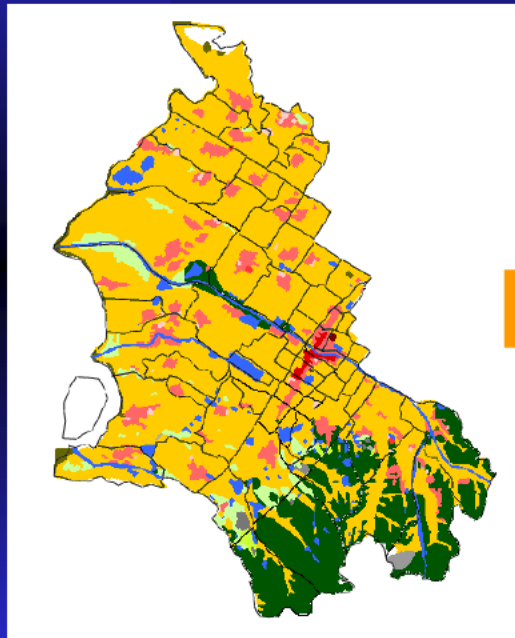
1. 草津川の河川概要

■ 草津川現川 縦断面図

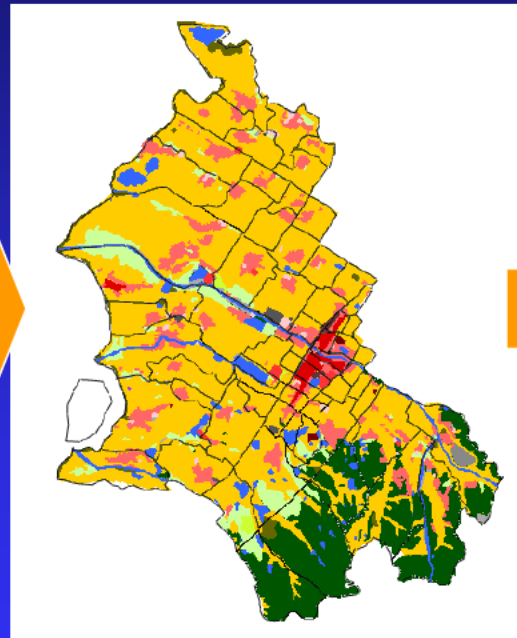


1. 草津川の河川概要

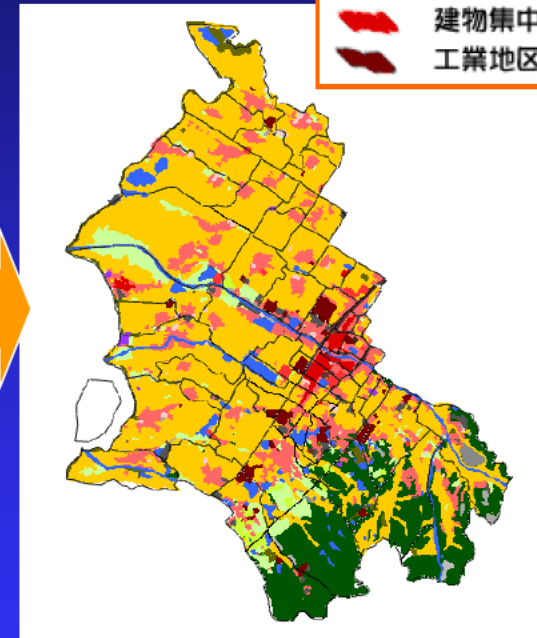
■ 土地利用の変遷



大正11年



昭和22年

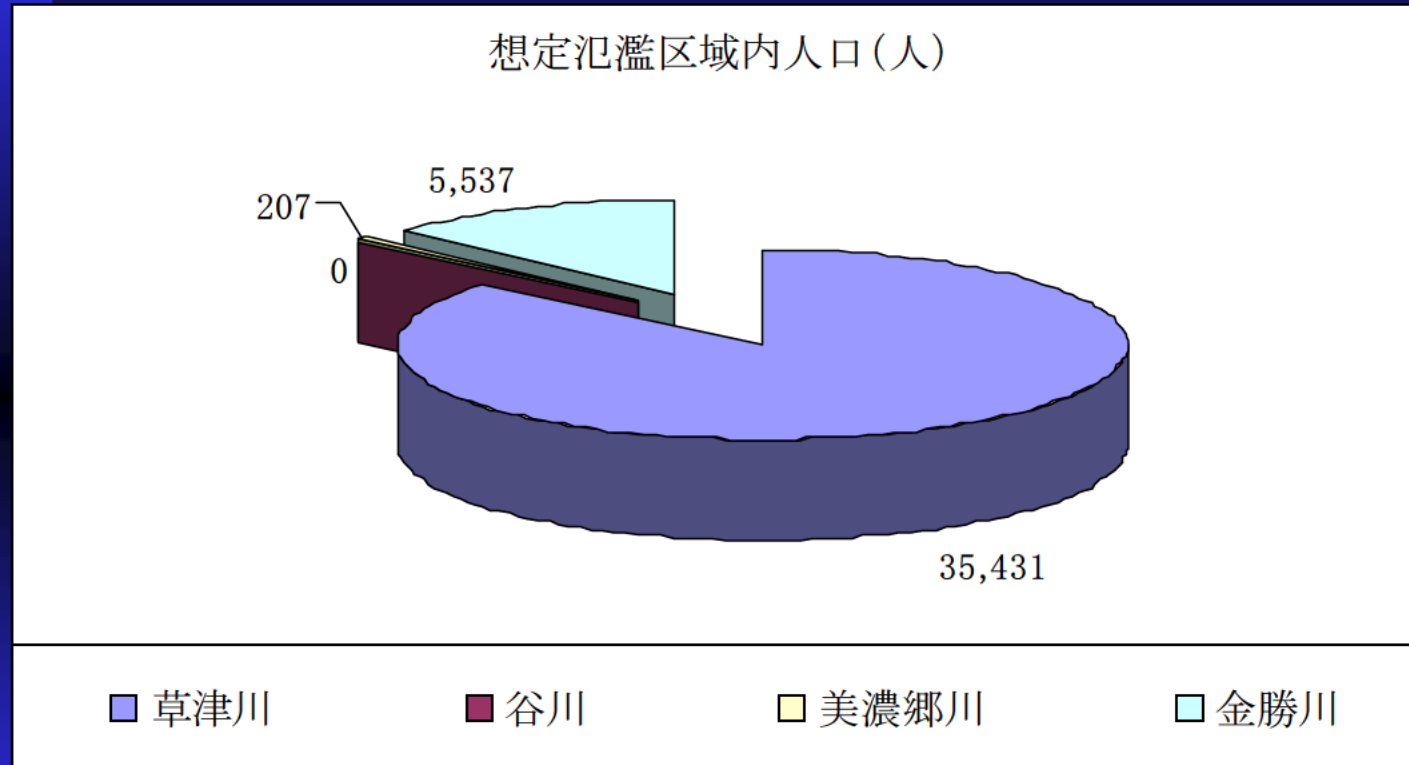


昭和57年

出典：(株)環境総合研究所作成資料より

2. 草津川を取り巻く社会環境

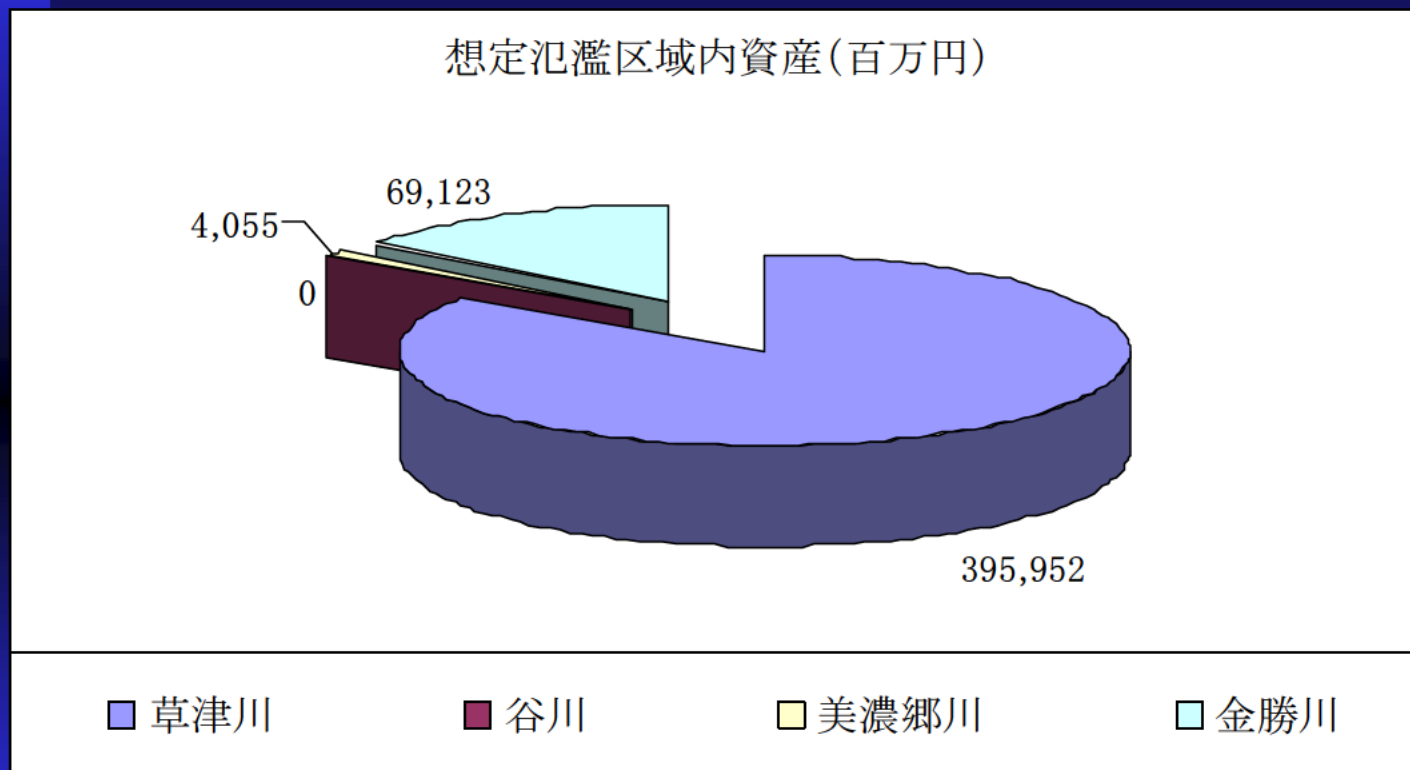
2.1 想定氾濫区域内の人口



- 氾濫区域内人口は約4万人であり、そのうちの約85%を草津川流域、約15%を金勝川流域が占めています。

2. 草津川を取り巻く社会環境

2.2 想定氾濫区域内の資産



- 氾濫区域内の資産額は約4,700億円であり、そのうちの約85%を草津川流域、約15%を金勝川流域が占めています。

3. 治水の歴史

■ 草津川現川の水害状況



市役所前

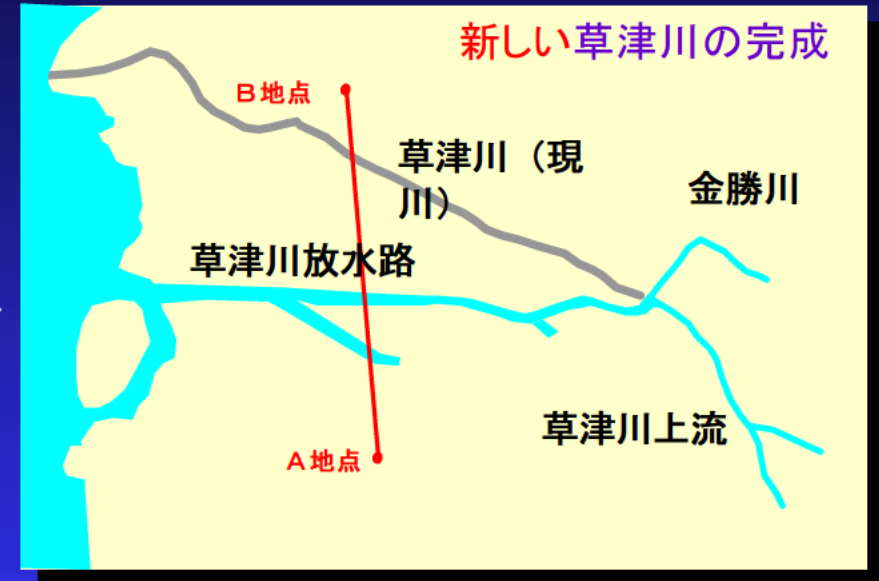
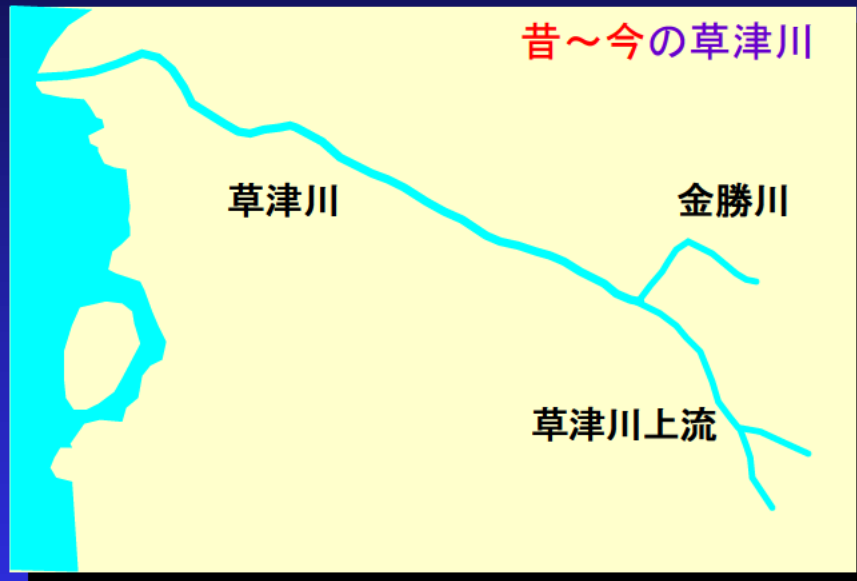


- ↪ 昔から人々は水害に苦しんでいました。
- ↪ 状況は今でも変わっていません。

※写真はすべて昭和60年 7月10日／草津市草津3丁目(内水による浸水)

3. 治水の歴史

■ 草津川放水路



- ⇒ 洪水から私たちを守るため、草津川放水路が建設されています。
- ⇒ 今後、放水路が完成し、水の流れは現川から放水路へ切り替わります。

